

五十嵐ゆうこの米國小売業最新レポート

2020年4月30日

Make Lemonade out of Lemons

(逆境を利用して好転を創造する)

“Stay Home!” が続く中、日常の家事を終わらせれば、テレビを観ることがどうしても多くなってしまっている頃です。

気にしすぎる事は良くないとはわかりつつも、新型コロナウイルス関連のニュースをついチェックしてしまい、少なからずストレス抱える結果になっています。

ですが、中には良いこともあり、それは先日 NHK ワールドで放送していたフランスの経済学者で、思想家のジャック・アタリ氏のインタビューでした。



アタリ氏は**“利他主義こそ最善の合理的主義”**と提言し、**“2030年ジャック・アタリの未来予測”**の著者でも有名な方です。

番組内でアタリ氏は**オプティミズム（楽観主義）とポジティビズム（実証主義）との違いをとて**も分かりやすく表現し、例えば、**「スポーツの試合を観客として見ていて、自分の好きなチームが勝ってくれるだろう と考えるのがオプティミズムで、自分が試合に直接参加し『いいプレイができれば勝てるだろう』と考えるのが、ポジティビズムである。」**現在、我々がおかれている状況を打破し、事態を良い方向に変えたいと願うのであれば、誰かが行動を起こすのを待つのでなく、自らが行動する必要があると説いていました。

この考え方は昨今の米国の小売業&外食産業の動向を観察していても合い通じるものがあります。

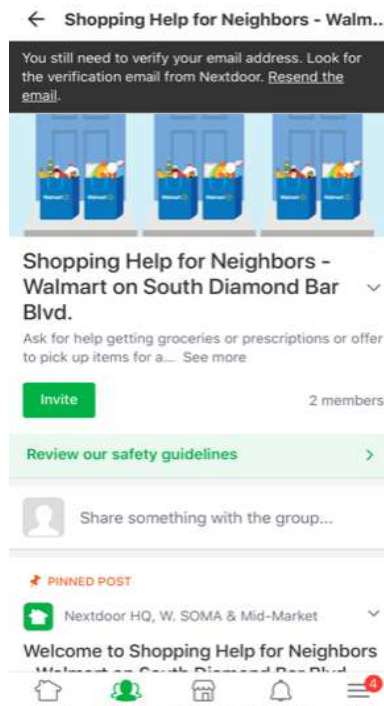
Walmart は"Neighbors Helping Neighbors"という新しいプログラムをスタートしました。



11:42



11:53



11:54



このプログラムは地域に住む高齢者や障害をもつ社会的弱者の方々の為に、空いているご近所の誰かが代わって Walmart で買い物をして届けてあげるという仕組みです。

地域住民が活性化と情報交換などの交流を広げる 1 つのツールとして利用されている”Nextdoor“（お隣さん）というアプリに Walmart がパートナーとして参加しています。

アプリ内の Group という項目に”**Shopping Help for Neighbors Walmart**“（**近隣 Walmart での買い物のお手伝い**）を新しい項目として組みこみ、ボランティアの誰かが注文をとってその箇所をクリックすれば、近隣の Walmart アプリにも連動されて商品の広告や在庫が確認できるという仕組みです。

もちろん直接店で買い物せずとも、オンラインで宅配かピックアップの買い物も可能で Walmart では本社のあるアーカンソー州ベントンビルを拠点にし、働く職員の多くに”Nextdoor“へのダウンロードと彼らの住む地域への買物代行としての貢献を奨励しています。

カリフォルニア交通局 Caltrans は高速のレストエリアにキッチントラックの出店を短期的に無料で許可しました。

日本と違ってカリフォルニアにあるレストエリアの殆どはドライブインのような食事する場所がなく、飲み物や簡単なスナックが買える自販機があるのみです。

これはオフィス街で出店していた昼食専門の屋台への救済のみならず、配送で行き来するトラックドライバーたちに少しでも出来立てのおいしい食事を提供できるという試みで双方に喜ばれているそうです。



南カリフォルニアでレストランが密集するカルバー市では、地元のビジネスリーダーなどの有力者などから集めた寄付金（現在は1ヶ月で約6万ドルの寄付が集められました）を活用して、ホームレスや食事が満足にできないなどの困っている人々にレストランの暖かい食事を無料で提供するプログラムを開始し、レストランは店舗を閉めることなく従業員と売り上げを維持できるという計画がスタートしました。

この4月24日には外出制限の中、65歳以上で一人暮らし、所得が低いなどの一定の条件を満たす高齢者をサポートするプログラムもカリフォルニア州でスタートしました。

これは一日に三度の食事代で\$66を上限とし、カリフォルニア州とレストランが連携して無料で届けます。

この取り組みは全米初となり大変注目を集めています。



現在は Trader Joes のどの店舗に行っても”We are all in this Together“という手書きのサインを見かけます。

直訳すれば”皆で頑張って乗り越えましよう“という意味です。

私の近隣にある店舗のフロントエンドにも、このメッセージとともに彼らが免疫強化のためにプロモーションしているエキネシアとショウガ入りのレモネードが陳列されていました。

レモンと言えばアメリカには”**Make lemonade out of lemon**”という有名なことわざがあります。**これはどんな逆境においても創意工夫すれば、その状況を好転できるという意味で** Trader Joes は、まさしくそのメッセージに触れた売り場づくりをしています。



ロサンゼルスでは食品スーパーなどの小売店に入場するためにマスクの着用を消費者にも義務付けており、マスクなしでは門前払いを受けてしまいます。

使い捨てや手づくりマスクがない人は、スカーフをマスクの代わりに巻き付けて入場している方も多々見かけますが、不衛生であるとも考えられ、近頃ではスーパーマーケットに近接するクリーニング店などでは、無料の手作りマスクを頂く機会も増えています。

これは大変ありがたい事です。

一昨日の事ですが、買い物から自宅へ戻ると玄関のドアに小さな紙が貼ってあり、そこにはこう書かれておりました。

「ご近所様へ、すべての人にとって非常に辛い時期ですが、私は今だからこそ、それぞれが手助けをするべきだと思います。

もし、ご家族の誰かがマスクを必要としているのに、手に入れることが困難であれば私のもっている使い捨てマスクを無料でシェアいたしますので、電話かテキストメールをください どうぞ健康でいましょう！」

私は思わずこのメッセージに“ありがとう”と声に出してしまいました。



日本でも著名人をはじめ尊い命が新型コロナウイルスによって奪われるという辛い日々が続いています。

日本プロ野球界が寄付を募り、最前線で闘っている医療従事者に、またビジネスホテルが医療従事者の方に無料で宿泊を提供し始めているそうですね。

自粛生活の厳しさと共に、多くの高齢者や社会的弱者の方々が、ネットでの買い物に不便さや不安などの問題を抱え、時には無理をしてでも店舗へ買い物に行かれる事もあると聞いております。

皆でワンチームとなり、アタリ氏の 誰かが行動を起こすのを待つのでなく、自らができることを始める という思想で、この難局を早く乗り切れる事を願います。

困っている時こそお互いさま の精神で、支えあうことがサステナビリティとも思います。

どうぞ今こそ皆様の工夫と行動で、この苦い経験を活かし、甘くておいしいレモネードを飲んだ時に感じる幸せな未来を導き出せますように。